

都市再生整備計画 フォローアップ報告書  
小前田駅北西部地区

平成23年8月

埼玉県深谷市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

| 指標  | 単位       | 従前値 | 目標値 | 事後評価  |                            |       |            | フォローアップによる確定値 | 計測時期 | フォローアップ時点での達成度 | 確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等 |          | 総合所見 |   |  |  |
|-----|----------|-----|-----|-------|----------------------------|-------|------------|---------------|------|----------------|------------------------------------|----------|------|---|--|--|
|     |          |     |     | 評価値   | 見込み・確定の別                   | 目標達成度 | 1年以内の達成見込み |               |      |                | 理由                                 | 改善策の方向性  |      |   |  |  |
| 指標1 | 定住人口の増加  | 人   | 29  | 150   | 40                         | 見込み   | ●          | △             | なし   | ●              | 132                                | H 23年 5月 | △    | - | <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま<br><input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要<br><input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる | 目標値に達していないが、土地区画整理事業が進み、駅に隣接した立地条件を活かした宅地が整備されたため、定住人口が増加した。また、今後、建設中の住宅が完成することで、定住人口の増加が見込まれる。さらに、保留地や仮換地の販売推進のためのPR活動やイベント等を継続して行うことにより、定住者人口の増加が促進すると考えられる。 |
| 指標2 | 駅の乗降客の増加 | 人/日 | 900 | 1,000 | 850(定期)<br>(全乗降客<br>1,082) | 見込み   | ●          | ×             | なし   | ●              | 757(定期)<br>(全乗降客<br>971)           | H 23年 5月 | △    | - | <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま<br><input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要<br><input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる | 事後評価における評価値からさらに減少した。しかし、ピーク時間帯における方向別利用者数では、西方向からの乗降客数は増加していることから、土地区画整理事業による宅地整備が、小前田駅における乗降客数の減少を抑制していると考えられる。  |
| 指標3 | 冠水区域の解消  | %   | 20  | 0     | 0                          | 見込み   | ●          | ○             | なし   | -              | -                                  | -        | -    | - | -  | 区画整理地区において、調整池の整備後に冠水が起きていないことから、調整池が快適な生活環境の維持に貢献していると考えられる。  |
| 指標4 | -        | -   | -   | -     | -                          | 見込み   | -          | -             | あり   | -              | -                                  | -        | -    | - | -  | -  |
| 指標5 | -        | -   | -   | -     | -                          | 見込み   | -          | -             | あり   | -              | -                                  | -        | -    | - | -  | -  |

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

| 指標        | 単位                      | 従前値 | 目標値 | 事後評価 |          |     |            | フォローアップによる確定値 | 計測時期 | フォローアップ時点での達成度 | 確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等 |          | 総合所見 |   |  |   |
|-----------|-------------------------|-----|-----|------|----------|-----|------------|---------------|------|----------------|------------------------------------|----------|------|---|--|---|
|           |                         |     |     | 評価値  | 見込み・確定の別 | 達成度 | 1年以内の達成見込み |               |      |                | 理由                                 | 改善策の方向性  |      |   |  |   |
| その他の数値指標1 | 土地区画整理事業第76条申請による住宅建設戸数 | 戸   | 0   | /    | 25       | 見込み | ●          | /             | /    | /              | 51                                 | H 23年 5月 | /    | - | <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま<br><input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要<br><input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる | 土地区画整理事業により区画が形成され、仮換地の売買により、住宅建設が進められるなど、住宅地の形成につながった。           |
| その他の数値指標2 | 歩道の整備延長                 | m   | 0   | /    | 850      | 見込み | -          | /             | /    | /              | -                                  | -        | /    | - | -  | 定住人口の増加が駅の利用者数の減少抑制に繋がっていることから、整備した歩道・遊歩道がその要因の一つとして貢献していると考えられる。 |
| その他の数値指標3 | -                       | -   | -   | /    | -        | 見込み | -          | /             | /    | /              | -                                  | -        | /    | - | -  | -   |

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

### 様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

| 事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)                               |                   | 実施した具体的な内容                                       | 実施した結果  | 今後の課題 その他特記事項   |
|--|-------------------|--|---|---|
| ・成果を持続させるために行う方策   | 安全・快適な市街地空間の維持・保全 | 自治会が強く要望していた生活道路の舗装化を行った。また、区画整理地区内に小前田北公園を整備した。 | 自治会の要望を実現し、生活道路が舗装化されたことにより、市街地空間の安全性・快適性が改善された。さらに、自治会が公園の管理を行うとともに、お祭り会場として利用するなど、公園が対象区域のコミュニティの活性化に貢献している。また、歩道部の植栽柵における草取りを地域住民が自主的に行っている。 | 行政として、自治会の意見を踏まえた道路機能の維持保全活動を行う。同様に、今後とも自治会と行政との協働により公園及び歩道の管理を行うことにより、利用し続けられる環境を確保することが望まれる。また、継続的な維持管理活動が住民の負担にならないための工夫が望まれる。   |
|  | 快適な生活環境の維持、向上     | 一般県道小前田児玉線の下水道整備のための設計を実施した。                     | 次のステップとして、平成23年度に公共下水道管の布設工事の準備を進めており、下水道事業認可区域における供用エリアの拡大が見込まれる。  | 今後は、公共下水道の布設工事を行い、下水道事業認可区域における供用エリアの拡大を目指す。今後、排水路等の機能を維持するため、自治会やボランティア、行政の協働による清掃活動の検討や、下水道の有効活用、水質向上を図るための利用マナーに関する啓発活動の実施が望まれる。                                       |
|  | -                 | -  | -   | -   |
| 改善策<br>・まちづくりの目標を達成するための改善策<br>・残された課題・新たな課題への対応策<br>・その他 必要な改善策 | 保留地や仮換地の販売促進      | 深谷市のHPを活用した広報活動を実施した。また、民間事業者による広報活動を実施した。       | 事後評価の時点では25戸であった土地区画整理法第76条申請による住宅建設戸数が、26戸増加し51戸となった。また、事後評価の時点では40戸であった常住人口が92人増加し、132人となった。  | 今後とも行政と民間事業者を中心とした広報活動を継続的に実施していくことが望まれる。その際、現行の広報活動に関して、深谷市のHPは広報のページにたどり着くことが困難であることが懸念されるため、広報のページを目につきやすい場所に移動させるなどの工夫が望まれる。また、民間事業者の運営するHPと相互リンクを張る等の工夫も有効であると考えられる。 |
|  | 利便性の高い市街地整備       | 対象区域内の生活道路の舗装化を行った。                              | 区域外と接続する生活道路の一部が舗装化された。なお、この生活道路は、現在、地区北部と花園総合支所や花園中学校を結ぶ道路であり、将来、(都)花植木通線、(都)小前田駅北通線に接続する道路であるため、重要性が高い道路である。                                  | 今後とも住民の要望を伺いながら、土地区画整理事業の効果をさらに高めるために、接続する都市計画道路や隣接地区の生活道路の整備など、利便性の向上や安全な通学路の確保に向けた検討を継続して実施する。特に、小前田駅へのアクセスに利用される道路の利便性の向上を図ることが望まれる。                                   |
|  | -                 | -  | -   | -   |

事後評価シート 添付様式5-③から転記

### 様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

| 追加が考えられる今後のまちづくり方策 | 具体的内容 | 実施時期 | 実施にあたっての課題 その他特記事項 |
|--------------------|-------|------|--------------------|
|                    |       |      |                    |
|                    |       |      |                    |
|                    |       |      |                    |
|                    |       |      |                    |